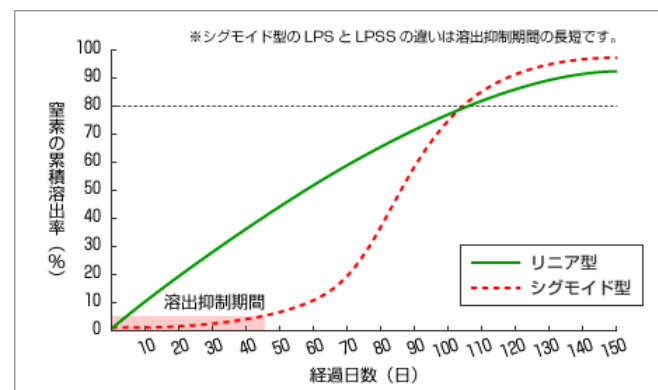


プラスチック使用量を削減した肥料

- プラスチックを使用した被覆肥料は、追肥の省力化が可能とともに、作物生育に応じて肥料が溶出するため、無駄が少なく、肥料の投入量も削減でき環境への負荷も低減できる一方で、**溶出後の被覆殻が海洋に流出することによる環境影響が懸念**されています。
- 被覆殻の流出防止対策として、プラスチックを減らした新しい被覆肥料への切替をはかります。

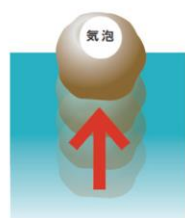
Jコート®とは

- 被覆に天然物質を配合することで、プラスチックの使用量を**20%低減**しました。
- 溶出完了後の被覆は軽微な力で崩壊します。
そのため、浮上しにくく、圃場外に流出する被覆殻が減少します。
- 従来品と同様の溶出（シグモイド型）を担保しています。



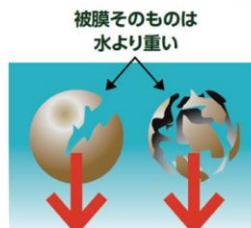
【浮上抑制イメージ】

■殻の形状のまま(風船状)



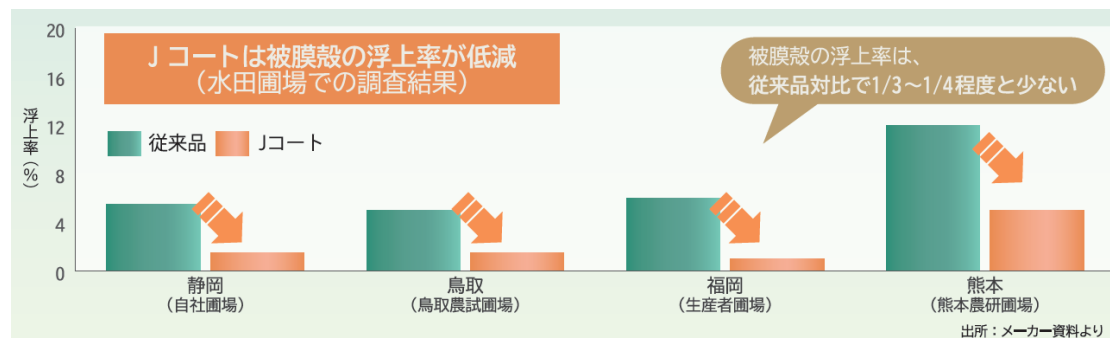
例えば気泡が入っていると
浮上しやすい

■殻が割れている又は細片化している



崩壊していれば浮上しにくい
(気泡が抜けやすいため)

【浮上率の比較(従来品)】



JA全農にいがた肥料工場では、順次「Jコート®」への切替をおこなっています。